

ボランタリークレジット プラットフォーム 企業最新動向(2022 年9月)

2022 年9月 30 日

ボランタリークレジットのリスクに対応した保険が提供される

VCS の REDD プロジェクトのレイティングが発表される

ボランタリークレジットへのリスクに対応した保険、相次いで発表される

森林などの自然生態系の保護や回復などを通じて CO2 の排出削減あるいは除去を行う取組み、Nature Based Solution (NBS) プロジェクトに由来するボランタリークレジットへの需要が高まっている中で、世界的な保険会社、Aon 社は、9月20日、NBS プロジェクトに由来するクレジットに関連するリスクに対応するための保険を提供すると発表した¹。

Aon 社の発表資料によれば、現在、NBS プロジェクトに由来するクレジットはボランタリークレジットとして市場で取引されているものの、ボランタリークレジット取引市場は公的な規制の下には置かれておらず、さらに契約も多様な形で交わされているため取引に参加する企業は多種多様なリスクにさらされていると述べている。Aon 社は、それらのリスクを4つの種類に分類。森林火災などにより資産が物理的に失われるリスク、環境上の損失(例:外来種を自然生態系の回復に利用した場合に生じる環境上の損失)への責任を負うリスク、ホスト国の政策変更などによりプロジェクトの実施が阻害されるリスク、導入した技術が想定通りに機能せず契約で予定された数量のクレジットが期日までに提供されないリスクなどであり、Aon 社の保険は、これらのリスクを低減させるものである。

Aon 社以外にも、保険仲介会社、Howden 社は、ボランタリークレジットのレピュテーションリスクに対応するための保険を提供すると発表した²。Howden 社

¹ Aon 社プレスリリース

<https://aon.mediaroom.com/2022-09-20-Aon-and-Revalue-Nature-to-Accelerate-Global-Decarbonization-Efforts>

² Howden 社プレスリリース

が提供するのは、ボランタリークレジットの発行までの有効化審査、検証において何らかの過失、詐欺がなされていた場合に対応するための保険である。Howden 社の説明では、このような保険は、世界でも初めてのものである。

ボランタリークレジット取引への関心は高まっている一方で、多種多様なリスクがあり、それがこれまで経験のない企業の市場への参入を拒んでいるのも事実である。特に、ボランタリークレジットの信頼性を疑う声も多く、信頼性の確保がボランタリークレジット取引市場の今後の成長に向けて課題となっている。Howden 社の提供する保険は、ボランタリークレジットの信頼性確保に向けた新しい取組みと言えるだろう。

ボランタリークレジットの格付け会社、BeZero 社、二つの REDD+プロジェクトを信頼性が高いと評価

9月 21 日、ボランタリークレジット発行機関、VCS を運営する Verra は、VCS に登録されている二つのプロジェクトが、BeZero 社によって AAA - の評価を得た、と報じられていることを発表した³。

BeZero 社は、ボランタリークレジットを発行するプロジェクトの追加性、過剰なクレジットの発行のリスクなど様々な点からプロジェクトを評価し、そのクレジットが本当に排出削減量を踏まえて発行されているのかどうか、その可能性について格付けとして見解を示している。

排出量を削減している可能性が最も高いプロジェクトについて AAA、ついで排出量を削減している可能性がある程度、見込まれるプロジェクトについて AA、排出量を削減している可能性が低いプロジェクトについては A の格付けを附している。

今回、BeZero 社から AAA - の評価を得た二つの REDD+プロジェクトは、インドネシアで行われている Katingan Peatland Restoration & Conservation Project、Sumatra Merang Peatland Project の二つである。

BeZero 社の見解では、Katingan プロジェクトについて、追加性を示す強い根拠が認められるとともに、過剰なクレジット発行の可能性もサンプリング調査の実施によって最小限に抑えられていると述べている。Merang プロジェクトについても、同様に追加性が強く認められ、排出削減量を算定するために設定する仮想の排出量の水準を低いものとするすることで、過剰なクレジット発行を回避していると指摘している。さらに二つのプロジェクトともに、ホスト国の政策環境が、supportive ではない中でも、成功を収めていると指摘している⁴。

<https://www.howdengroup.com/news-and-insights/Howden-launches-World-First-voluntary-carbon-credit-insurance-product-to-help-scale-the-market>

³ <https://verra.org/two-verra-projects-in-indonesia-receive-high-grades-from-offset-ratings-agency/>

⁴ BeZero 社が格付けしているプロジェクトは以下のサイトで参照可能。

AAA-とマイナスの評価がなされている点について、Katingan プロジェクトについては、プロジェクト実施地域で森林保護がなされることで、他の地域において森林伐採が行われる可能性があり、さらに森林火災の可能性もあるため評価を引き下げたとしている。Merang プロジェクトにおいては、Katingan プロジェクトと同様に他の地域での森林伐採が行われる可能性があることや、プロジェクト実施地域の利害関係者の遵守への意識の低さを上げている。

このように 100%ではないが、これらの二つの REDD+プロジェクトについては、排出削減が実際に行われている可能性が高い、とする見解を BeZero 社は示している。

REDD+プロジェクトについては、その信頼性を疑問視する声も根強いものの、BeZero 社のような評価が示される場合もある。REDD+プロジェクトの評価を行う際には慎重な検討を行う必要があると言えるだろう。

2022 年9月のボランタリークレジットに関する企業の動向

国名	ニュースヘッドライン	出所	日付
日本	ミツウロコ、2 社へカーボンニュートラル LP ガスを供給	ミツウロコ HP	2022-08-22
アメリカ	アメリカで小規模森林アグリゲーション管理によるオフセットクレジットプロジェクトに 500 万ドル投資決定	Carbon Pulse	2022-08-26
オーストラリア	オーストラリアニュージーランド銀行(ANZ Bank)会長、オフセットクレジットの仮想通貨交換に積極姿勢	Carbon Pulse	2022-08-30
日本	移動による CO2 を J クレジットでオフセットする旅行プランを発売	日本旅行	2022-09-02
中国 香港	香港の都市ガス会社 Towngas 社、香港国際カーボンマーケット評議会に参画、中国本土での国際的なカーボン取引マーケットを目指す	Towangas プレスリリース	2022-09-05
英国	保険仲介会社、Howden がボランタリークレジットの信頼性に保険を提供	Reuter	2022-09-06
中国	中国の貨物プラットフォーム 業界全体の炭素排出量とオフセットオプションを構築	NNA	2022-09-06
日本	大阪ガス、新築マンション向けの「カーボンニュートラルな都市ガス」供給サービスを開始	大阪ガス プレスリリース	2022-09-08
日本	カクイ協和産業、アストモスエネルギーとカーボンニュートラル LPG の売買契約を締結	アストモスエネ ルギー プレスリリース	2022-09-08
日本	小松物産、アストモスエネルギーとカーボンニュートラル LPG の売買契約を締結	アストモスエネ ルギー	2022-09-12
カナダ	バイオチャープロジェクト由来のクレジット売買契約、締結される	Invert プレスリリース	2022-09-13
国際	保険仲介会社、Aon、Nature based solution 関係のプロジェクトに保険を提供	Aon プレスリリース	2022-9-20
国際	BeZero 社が、二つの REDD プロジェクトに高いレーティングをつける	Verra プレスリリース	2022-09-21

(出典) 各種資料を踏まえて日本エネルギー経済研究所作

(文責) 小松 潔(日本エネルギー経済研究所)

(情報収集) 岡村俊哉、松本晃(日本エネルギー経済研究所)